

夕 歩 道



↑きれいな紫色が印象的なサワギキョウ

食虫植物の代表モウセンゴケ→

9.17 (FRI)

「植物調査」の結果報告

◆南幌町清幌橋付近 河川敷に残る貴重な植物

9月17日(金)に、河川敷の植物調査が行われました。これは前回の流域会議で、指摘のあった清幌橋付近の稀少植物についての調査で、8月末と9月中旬の2回の調査データと11年前のデータを比較するものです。確認されたのは134種で、そのうちの26種が11年前のデータでも確認されていました。秋だけの調査でしたが、今後は春の調査と合わせて行うことが大切なようです。確認された稀少種にはコツマトリソウ、ネジバナもありました。

秋の夕張川もゲンキです
ふるさとの川への想いすくすくと
(川の楽習会から)

夕張川 聞き耳 たて耳



9.26 (SUN)

三日月湖等で魚類調査

◆長沼町四つ沼、由仁町岡山さんの沼、ヤリキレナイ川

夕張川本流を離れて、旧河川や三日月湖と呼ばれているところを中心に、3ヶ所で魚類調査が9月26日(日)に実施されました。

北長沼の四つ沼はヤチウグイ等の重要な生息地になっている沼ですが、今回の調査では確認されなかったようです。キンブナのキラキラ光るきれいな金色の魚体と、いびつな形をしたヒシの実が印象的でした。

岡山さんの沼は、洪水時に本流の水が入るところですが、ここではワカサギ、スジエビがたくさん獲れ、またカイツブリが潜って魚をとる姿が見られました。期待したヤチウグイやエゾホトケが確認できず、少しがっかりしてヤリキレナイ川へ移動しました。



ジャン！ 今回の成果です

※環境庁レッドデータブックから…
(日本の絶滅のおそれのある野生生物の個々の種の生息状況等をまとめたもの)
エゾホトケが絶滅の危険が増大している種として絶滅危惧Ⅱ類、ヤチウグイは生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種準絶滅危惧種に指定されています。



ヤリキレナイ川。見かけど違い、自然が豊か



由仁町岡山さんの沼。ヤチウグイは確認できず、カックリ

典型的な3面張りの溝のような川ですが、一番魚がいました。流れが変化して瀬、淵があり、植物も生い茂っています。こんな環境が、魚にとってはいい場所なんだと実感！

9.27 (MON)

「夕張川川の楽習会」報告

南幌町の小学生が 魚獲りに挑戦!

◆南幌町清幌床止

地元小学生154名を中心に、夕張川流域会議の委員の皆さんや各河川団体のメンバーの皆さんも参加して、賑々しく始まった川の楽習会!

子どもたちは魚獲りに挑戦したり、意外にむずかしい投網を見学したり、魚道と新水路の勉強もしっかりしました。その日の夕張川は増水していたため、捕獲された魚種は多くなかったのですが、子どもたちは大喜び! つめたくい水でも子どもはへっちゃらなんです。

夕張川とふれあったこのひとときを、いつまでも覚えていくれることでしょう。



魚の観察



魚道、床止の勉強



投網



魚獲り

●確認した魚種
ウグイ、エソウグイ、コイ、キンブナ、フクドジョウ、ドジョウ、ジュズカケハゼ、ウキゴリ、トウヨシノボリ、ヤツメウナギ、スジエビ

10.7 (THU)



夕張川流域会議速報

第6回「夕張川流域会議」開催!!

◆植樹会/南幌町清幌床止(左岸側高水敷)
◆流域会議/南幌町農村環境改善センター
(南幌町ビューロー向かい)



動植物の生息環境についても話し合われた流域会議

★夕張川流域会議の概要はこのホームページで
<http://www.is.hkd.mlit.go.jp/>
北海道開発局石狩川開発建設部トップページ→
事業の最前線→江別河川事務所→夕張川流域会議

10月19日、第6回目の夕張川流域会議が南幌町で開催されました。今回は会議に先立ち、リバーサイド公園で委員の皆さんが参加した、生態学的混播法による植樹が行われました。ここに来る度に、生長ぶりを確認してしまう人も多いのでは。数年後が楽しみです。
会議では、鳥類の生息環境についての報告、河畔の植物調査と旧川、沼の魚類調査の結果について説明があり、また、河川整備計画の策定状況も報告されました。



川辺での植樹は気持ちイイ〜

10.23 (SAT)

第2回夕張川フォーラム開催 「夕張川の歴史と未来」をテーマに

◆栗山町

夕張川フォーラムの第2回が、10月23日(土)、栗山町で開催されました。前回のフォーラム(2月7日)では、夕張川なんでも探検隊など各団体の活動報告、流域で行われている事業や調査の報告などでしたが、今回は「夕張川の歴史と未来」をテーマに、昔の夕張川の流れに関する話、チャシ(アイヌの人達の砦、見張り台、祭祀の場)や土功組合についての報告、江別河川事務所沖所長から、治水事業の歴史が紹介されました。また、流域生態研究所の妹尾氏の、「これからの川づくりが自然の水の力を利用したものであってほしい」という主旨の講演には、皆聞き入っていました。

この地を潤してきた夕張川に感謝し、先人達に敬意を払いつつ、この川の未来を見出していこうという思いをひとつにしたひとときでした。

